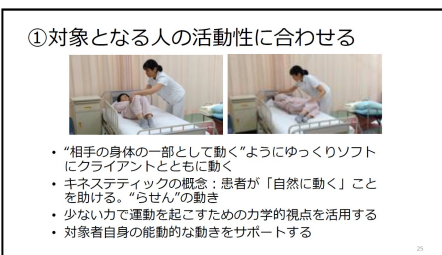
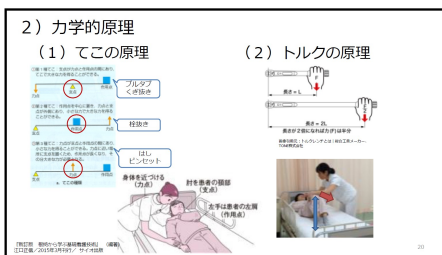
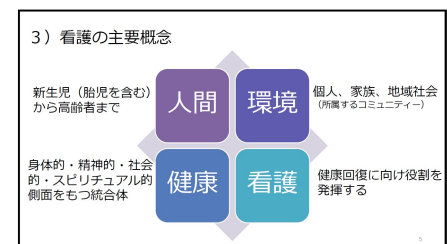
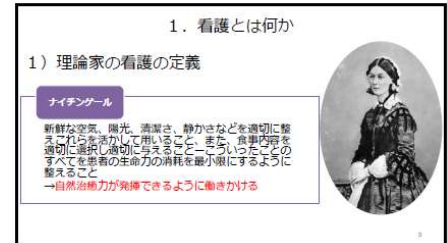


2024年度チャレンジ講座(第6回)を実施しました

8月21日(水曜日)、第6回チャレンジ講座を実施しました。今回は、医学部看護学科の佐藤祐貴子先生に「エビデンスに基づく安全・安楽な看護技術」というテーマで講義をしていただきました。

まず、看護とは何か、という話から始まり、ナイチンゲールの掲げた看護のあり方についてお話いただきました。それを端緒として、2) 看護の定義、3) 看護の主要概念について説明されました。

その後、看護技術の内容にはいり、特にポジショニング・体位について重点的にお話いただきました。まず、その考え方やその捉え方について概略が説明されましたが、特に「安静」と「安楽」の違いについての説明は興味を引かれる内容でした。また「3, 体位・姿勢」「4, 基盤となる知識」の内容では、専門用語として「臥位」「座位」「立位」「ボディメカニクス」「アライメント」などが出てきましたが、丁寧な説明をしていただき、理解が進みました。



そして、その理論や実践を支えるものが、生物、物理、化学などの高校で学ぶ内容であることが紹介され、その学習の大切さを再認識できました。

また、実習の様子を動画で紹介していただきました。その中で学生がお互いに知識や技能を確認しながら取り組んでおり、医療系人材の育成の大変さを実感できました。学生が大変前向きに、そして元気に実習に取り組んでおり、お互いに高めあいながら学びを深めている様子がうかがえました。



今回のチャレンジ講座に15の学校から289名の高校生が参加しました。感想の一部を紹介します。

- 患者さんがいかに安全・安楽に生活できるか考え実行するのが看護師だということがよくわかった。患者さんの異変に対応する力が必要になっていくということも学べた。自分の体のことも理解したい。ありがとうございました。
- 実際の実習の映像を見ることができ、言葉や図だけではなかったもので、想像しやすかったです。また、他の参加者の意見も聞けたので、自分の考えと比較できてよかったです。
- 今回の講座を受けてみて、大分大学での授業方針をしっかりと理解することができて、より看護師になりたい気持ちが高まりました。大分大学にいけるようにこれから学習を頑張りたいと強く思いました。

※今回の記事(講義概要)は、別府翔青高校が担当しました。